25
Silver Anniversary



ライオンズクラブ国際協会331-A地区第2R第2Z

札幌グリーンライオンズクラブ

認証25周年記念



記念誌表紙：チシマザクラ

この桜は昭和 59 年（1984 年）に釧路支庁管内浜中町霧多布から苗木を取り寄せ植樹。 本州北部や北海道の高山、 南千島等に分布。 咲き始めころはピンクですが、 満開時には白色に変化していきます。

撮影場所：国立研究開発法人　寒地土木研究所

撮 影 者：L 高野倫行

ライオンズクラブ国際協会 331-A 地区第2R 第2Z

札幌グリーンライオンズクラブ

認証25周年記念誌

目　次

ごあいさつ　札幌グリーンライオンズクラブ　会 長　L 竹内　信也 …… 5

祝　辞　ライオンズクラブ国際協会国際理事　L 川島　正行 …… 6

ライオンズクラブ国際協会元国際理事　L 杉本　忠雄 …… 7

ライオンズクラブ国際協会 331 複合地区 ガバナー協議会議長　L 渡辺　修 …… 8

ライオンズクラブ国際協会 331-A 地区ガバナー　L 鈴木　善一 …… 9

札幌パイオニアライオンズクラブ　会 長　L 五十嵐　伸治 …… 10

呉グリーンライオンズクラブ　会 長　L 中下　憲治 …… 11

岡山せとうちライオンズクラブ　会 長　L 白鳥　隆則 …… 12

歩み　21 年度～ 25 年度 …… 13

記念アクティビティ …… 19

アクティビティの記録 …… 25

出会い　L. 村上　純一 …… 32

グリーン盟友のつながり　L 忠海　健三 …… 33

25 周年記念インタビュー …… 34

部会報告 …… 39

謝辞 CN25 実行委員長 …… 41

会員名簿 …… 42

組 織 図 …… 45

編集後記 …… 46

認 証 状


The International Association of Lions Clubs

CHARTER

To All to Whom These Presents Shall Come:

GREETING

Know Ye that The International Association of Lions Clubs has granted, and by these presents does grant to the Members, whose names are hereunto affixed, and to all regularly elected members and their successors, this Charter fully constituting them a Local Club, under the name and title of

THE LIONS CLUB OF Sapporo (Green)

Sponsored by Sapporo (Pioneer)

Located at Sapporo, Japan with all the rights and privileges given to members of The International Association of Lions Clubs, according to the rules and regulations of the Constitution and By-Laws of The International Association now in force, or hereinafter enacted.

This Charter shall be in full force and effect from the day of the date hereof and for such time as the Members of the Local Club shall conform to the laws and rules of The International Association. Otherwise this Charter shall be revoked.

In Witness Whereof The International Association of Lions Clubs has authorized its President and Secretary to affix their signatures, and caused the seal of the Association to be hereunto affixed this 24th day of March in the year of our Lord 1995

Charter Members

浅水 正	慈後光雄	藤田哲夫	比護了造	
平岡信夫	福島 衛	平野和司	広川栄理子	
池永侑禧	石山 進	石坂 智	北瀬敏雄	
小泉賢博	苅田安美	川邊祥子	児玉 司	
近藤 弘	鳥酔木哲男	松田清彦	二宮唯満	西田 功
野中秀俊	西村建二	野呂田鳳一	小川洋一	佐々木 忠
佐々木五郎	鈴木清二	酒井和子	新免克己	生司秀代彦
高木好治	高野倫行	竹内新栄	竹内信也	田中永吉
坪田敏男	渡辺佳子	山本光祥	山下稔夫	山崎健作
山崎大佑	山田一男	横江弘史	吉野祐夫	吉田主朗

クラブ基本理念

緑を愛し
地球環境を大切に

結 成 式
1995 年 3 月 16 日

認証式伝達式
1995 年 6 月 14 日

スポンサークラブ
札幌パイオニア LC

国際会長テーマ

We Serve

地区ガバナースローガン

「to the next generation」～進取果敢～

クラブ会長スローガン

夢と情熱そして勇気にウィサーブ

ごあいさつ



札幌グリーンライオンズクラブ

会 長　　Ｌ竹内　信也

1995年「緑を愛し　地球環境を大切に」なる崇高な理念の基、札幌グリーンライオンズクラブは誕生しました。ここに認証25周年シルバーアニバーサリーを迎えるに至り、設立に携わった一員として感慨ひとしおであります。ここまでの道程は多くのライオンの皆さま、奉仕活動におけるパートナーの皆さまのご厚誼、ご指導戴いた賜物であり、衷心より感謝申し上げます。

本来であれば6月19日式典・祝賀会会場にて皆さまをお迎えし、心をこめてご挨拶させて戴く所存でありました。しかし、猛威治まらず適切な治療薬なき感染症を前にし「今やるべきこと」を考えた時、催行中止しか選択肢は有りませんでした。クラブメンバー全員で皆さまをお迎えする場を失う事となり、誠に残念でありますが何卒ご理解のほどよろしくお願い致します。

上記ご案内の通り式典・祝賀会中止と致しましたが25周年は大切な節目であり、これまでの奉仕活動における足跡を共有化し、この先新たに加わるであろうメンバー達に想いをカタチで伝えたいと考え、記念誌については発行する判断を致しました。ご祝辞・ご寄稿を頂戴致しました皆さま、この場を借りて心より御礼申し上げます。

僭越ながらご挨拶の場を戴きましたので、ここに奉仕活動の一端をご紹介させて戴きます。今期の記念事業としてMJF300％クラブとなりました。広く世界における生活困窮者の支援・こども達の健全育成をライオニズムの原点と考え、歴代会長と共にクラブメンバー全員の理解を得た誇るべき活動と思っております。

もう一つの記念事業、チシマザクラ関連。最大アクティビティである苗木頒布は、希望する市民に我々が育てた苗木を持ち帰って戴き自宅に植樹して貰うアクティビティです。メンバーの素晴らしいアイディアから生まれました。地域の宝チシマザクラが市民に春を迎える楽しみを与えてくれて、市民・官・ライオンズクラブ一体となった循環型アクティビティとして継続を願っております。

結びとなりますが、志同じくする仲間達が居たからこそ共にこの節目を迎える事が出来ました。そしてこの後における札幌グリーンライオンズクラブのあるべき姿を考える時、先々人々が健やかに暮らせる地球である事を願い、人と地域と繋がり、仲間と共に楽しみを持ちながら地域貢献に取り組む事が意義ある活動と考えております。今後とも皆様の温かいご支援ご指導賜ります様宜しくお願い申し上げます。

祝　辞



ライオンズクラブ国際協会
国際理事　　L 川 島 正 行

新緑に包まれ あざやかに花咲くころ、札幌グリーンライオンズクラブ結成 25 周年記念式典が、本来ご来賓並び多くのメンバー皆様の参加の下、賑わいの中盛大に開催されるはずでしたが、現在世界中で新型コロナウィルスが猛威を振るっています。会長 L 竹内信也が熟考に熟考を重ね 25 年間の総決算である周年行事を先ずメンバー皆様の健康を考え 中止となりました。

ここまで準備をしてきた大会実行委員会の皆様におかれましては大変残念であったと思います。また私も是非参加させて頂きたく予定していました。

札幌グリーンライオンズクラブは結成 25 周年を迎える歴史の中で地元地域への奉仕も時代・環境の変化もある中活動されてきました。特に青少年育成に注力され「青少年意見発表大会」「子供の声発表会」また「高校生の意見発表大会」等長く継続され、子供たちへ対しての取り組み方に大変な感動を覚えます。そして LCIF においては著しい貢献をされ世界で 8 番目のブルークラブとして、バナーを受領しています。まさしく 331-A 地区を代表するクラブであります。

いま時代と共に世の中は変化し、今までの成功の方程式はこれからの成功とはならないかもしれません。

ジュンヨル チョイ国際会長は「多様性で We serve」と言われています。これはライオンズ会員の多様性と、私たちの奉仕の多様性の両方を捉えた意味深いメッセージであり、この多様性こそが私たちライオンズの強みであります。

そして皆が集まれば足し算ではなく掛け算的に力が生まれる事を私たちは知っています。これから私たちは、やりたい奉仕でなく地域が求める奉仕に応えて行かなければなりません。

今年度の竹内信也会長のスローガンは
〈 夢と情熱そして勇気にウイサーブ 〉
25年の歴史を新たな夢の下に熱い勇気を持って一歩を踏み出して下さい。
未知は道になる。
これからも地域を代表するクラブとして 顔晴って頂き、奉仕の燈火を力強く
次代へ繋げて頂けますよう
そして貴クラブの益々の発展を熱くご祈念申しあげ挨拶とさせて頂きます。

We Serve

祝　辞



ライオンズクラブ国際協会
元国際理事　　Ｌ杉本　忠夫

札幌グリーンライオンズクラブ認証25年のアニバーサリーを迎え、心よりお慶び申し上げます。これまで多くのACTは、先人と共に、地域社会に大きな足跡を残したことに、深い敬意を表します。

さて、今年の新型コロナウィルス感染等を終束させたとする中国が、米国から地政学的優位を奪う見方すらある。しかし、コロナウィルスの件でも、一党独裁は、他国に信用欠くことも多く、又、国際協調路線を歩むこともなく、他国の干渉に排除はあっても、聞く耳を持たないのも同然である。

令和2年の年明けは、最悪となり、日本で開催のオリンピックゲームまで、延期は誰が予想したか。至極残念でならない。

次に、私がID2年目の折、上海万博開催時に、日本の8MDから、議長、地区ガバナー共々、総勢70余名のメンバーと共に、中国身体障害者連合会の要請を受け、中国ライオンズクラブ暫定地区創設の祝賀に伺った。中国風大宴会では、500人近い男女、有職婦人も多く、急に美人を集めた感もあった。

中国にクラブ新設を目途に、かつての国際会長KK　FUKUSHIMAが、約10年にわたり、尽力したが、国情の違いから、困難を極めたのも、事実である。

その後、私の信頼する、香港選出のタムライオンが、国際会長に就任で、更なる中国への働きかけをし、ご苦労をしながら、中国に人道奉仕の理解が、深まった年度でもありました。
これには、中国の深圳を経済特区にすべく、努力された、改革、解放の鄧小平が、障害者の長男を、ライオンズクラブ責任者に任命され、手応えを感じたのも事実であります。
その後、幾多の、努力を重ねた結果が、今日の中国ライオンズクラブである。

更に、その翌年には、日本より2人目の国際会長山田候補が、選出され、第2副会長の誕生となった。実現までに、紆余曲折があったが、時の国際大会の代議員に感謝です。
これからの、クラブにあっては、この先、2～3年はメンバーのご苦労が多いかと予想されますが、共に、協調性を忘れることもなく、今後も、クオリティの高いクラブとして、ご活躍を希望します。

メンバー皆様のご多幸と、クラブのご繁栄をご祈念申し上げ、祝辞と致します。

祝　辞



ライオンズクラブ国際協会 331 複合地区
ガバナー協議会　議長　　L 渡辺　　修

札幌グリーンライオンズクラブ認証25周年を迎え、会員皆様に衷心より敬意を表すると共に、慶賀の至りに存じます。

ライオンズクラブにおいて大きな意義を成す25年、様々な変遷を経て奉仕活動の歴史を積み重ね、数々のご苦労、感動、喜びがあり会員皆様においては感慨深いものとご推察申し上げます。

札幌グリーンライオンズクラブの基本方針「緑を愛し、地球環境を大切に！」を宣言し、環境保護、植樹、クリーン活動を実行し、さらには24年間継続事業として取り組まれている「青少年意見発表大会（弁論大会）」、13年継続中の「こどもの声発表会」等、青少年の個性と独立性の礎となるべく自己主張のできる環境を整備立案具現化し、更にはLCIFへの貢献としてCN10 MJF100％、CN15 MJF200％、CN20 ではブルークラブとしての偉業達成と数々のアクティビティを立案継続され着実にクラブとしての歴史と存在感を築き上げられているものと感じます。

偏に歴代の会長、会員同志の友情と絆、努力の賜物であり、数々の社会貢献への功績は不動のものとなっております。

更にはCN25 記念アクティビティとしてMJF300％達成、「国立研究開発法人土木研究所寒地土木研究所」と「千島桜基金に関する覚書」の締結と、積極的且つ活発な活動が継続され、地区内においても模範的クラブであると確信いたしているところです。

このようにクラブ運営を積極的に取り組む姿勢は、今期のL竹内会長が提唱する「夢と情熱そして勇気にウィサーブ」のスローガンに沿うものであり、賞賛に値するものであります。

この度の認証25周年を機に、会員皆様の更なるライオニズム高揚と30年50年へと新たな歴史を積み重ね、他ライオンズクラブが目標とする模範的クラブとして活躍されます事を心より祈念し、貴クラブの益々のご隆盛をご期待申し上げお祝いの言葉と致します。

祝　辞



ライオンズクラブ国際協会331－A地区
地区ガバナー・
地区LCIFコーディネーター　　Ｌ鈴木　善一

札幌グリーンライオンズクラブが結成25周年という佳節を迎えられましたことを心よりお祝い申し上げます。

貴クラブは札幌パイオニアライオンズクラブのスポンサーにより、１９９５年3月１６日に結成されて以来、25 年の長きにわたり地域社会への奉仕活動を積極的に続けて来られました。

地区運営のみならず LCIF 国際財団へ多大なるご支援をいただき、特に財団へは周年事業の一環として 1,000 ドル全員寄付を継続して行われ、全世界の子供たちの支援や災害復興など多岐にわたる活動に貢献されていることに敬意を表するところでございます。

また、近年は LCI フォワード 5 つの重点活動の環境保全に関する事業を継続して実施され、中島公園の樹木の樹名板の設置や維持管理事業、NPO 団体と合同での環境保全活動、そして青少年育成事業として「森の教室」においての炊き出し提供など形を変え活動しており、更に子供たちへの自立支援活動を行うなど地域社会との連携を展開し、弱い立場や困っている人達に希望を与える活動を行われておりますことは素晴らしい奉仕事業と力強さを感じるところでございます。

ライオンズクラブ国際協会は今年で 103 年目を迎えました。

「We Serve」“我々は奉仕する”を世界共通のテーマとして活動しております。

日本はもとより世界のライオンズメンバーは千差万別でありますが、この違いこそが強みと捉え、より良い地域・より良い奉仕・より良いクラブをグローバルな発想で更なる結束を固め発展されることをご期待申し上げます。

我々、ライオンズメンバーは今後も一生懸命に頑張る人達を応援し続けてまいることでしょう。今後も変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます。

結びに、「夢と情熱そして勇気にウィサーブ」札幌グリーンライオンズクラブ竹内 信也会長スローガンのもと会員全員、心ひとつに今後のライオンズライフを楽しみご活躍されますことをご祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。

祝　辞



スポンサークラブ
札幌パイオニアライオンズクラブ
会 長　　L 五十嵐　伸治

この度　札幌グリーンライオンズクラブが認証25周年を迎えられましたこと、スポンサークラブを代表いたしまして謹んでお慶び申し上げます。

貴クラブは、1995年当クラブ結成10年を機に、エクステンションされ「緑を愛し、地球環境を大切に」を基本理念に発足されたクラブでございます。

その基本理念に忠実に、札幌中島公園での樹名板設置、そしてその後の点検 ACT や「石狩川河畔でゴミを拾って植樹しよう」ACT また「青少年意見発表会」ACT と環境保全活動、青少年健全育成活動を重点に活動され、本日ここに25周年を迎えられました。
その長年にわたる活躍に敬意を表します。

また貴クラブは、LCIF への多大なる貢献をされております。
10周年記念には MJF100％を達成し、15周年には200％、そして今期25周年には、MJF300％を達成されました。ただただ素晴らしい貢献であると言わざるを得ません。

これは、クラブ会員皆様の団結力と実行力無くして達成出来ることではありません。
改めてスポンサークラブとしまして、その貢献に敬意を表します。

本日まで培われてきました貴クラブの歴史と伝統、事業の上に立って今後の発展とライオンズ活動の原点である「奉仕の心」に大切に益々の発展をしていただけると幸いに存じます。

今期竹内信也会長のもと、スローガン「夢と情熱そして勇気にウィサーブ」のもと来期に向け更なるアクティビティとライオンズ活動に従事されますことを祈願し、貴クラブの益々の発展と会員の皆様のご健勝をお祈り申し上げ　お祝いの言葉といたします。

祝　辞



グリーン盟友
呉グリーンライオンズクラブ
会 長　Ｌ中下　憲治

札幌グリーンライオンズクラブの記念すべき認証25年を迎えられましたこと呉グリーンライオンズクラブを代表し心よりお祝い申し上げます。

貴クラブは、結成以来、地域に密着したアクティビティを積極的に取り組まれてこられました。

今回は、記念事業として千島桜の種を採取し3年かけて育て育った苗木を市民の方々に500本頒布されました。

また、中島公園樹名板維持管理、茨戸川自然再生植樹等々、心温まる大変素晴らしい奉仕活動を継続されています。

貴クラブの基本方針である『緑を愛し、地球環境を大切に！』を宣言通り続けてこられた真っすぐな情熱は、これからも地域社会に大きく寄与されることと思っております。

結びにグリーン盟友の大切な仲間である札幌グリーンライオンズクラブの更なるご発展と会員皆様のご健勝とご多幸を祈念いたしましてお祝いの言葉とさせていただきます。

祝　辞



姉妹提携クラブ
岡山せとうちライオンズクラブ
会 長　Ｌ白鳥　隆則

札幌グリーンライオンズクラブ認証25周年おめでとうございます。
過年、マイアミ、ブリスベンでの国際大会での出会いから会員相互の交流を得て1995年6月の認証式に招かれて今日まで姉妹クラブとして多年の友情を育んで参りました、25周年の輝かしい節目を迎えられ多岐に渡る事業、充実したクラブ運営に心からの敬意をクラブを代表して表させて頂きます。

今般、記念式典には、入会5年未満の会員10余名を含め多数の会員での出席を楽しみにしておりましたが、世界中に蔓延した新型コロナウイルスの影響で周年式典が中止となりお祝いに出向く事が叶わず残念ではございましたが国難とも言える事態が一日でも早く終息することを祈るばかりです。
姉妹提携当時の会員は少なくなりましたが毎年の様に何かしらの交流が旧にも増して盛んとなり嬉しく感じております。

25年の節目期にクラブの益々の発展をお祈りし会員各位のご活躍を祈念しお祝いとさせて頂きます。



歩み

25

Silver Anniversary

2015.7 ～ 2016.6（設立 21 年度）



会長スローガン

歴史を重んじ、未来志向でリスタート

認証２０周年を終えた次期の会長を引き受けました。
クラブ全体が周年行事を無事終えた達成感の後に来る倦怠感を防止のため、次の５年に向かって再スタート切るために掲げたスローガンです。
新たなアクティビティは「チシマザクラ頒布・緑化支援」を開始、２５周年記念アクティビティとして意味のある活動です。

会　長　Ｌ岡山　豊昌　　幹　事　Ｌ谷川原　友美　　会　計　Ｌ山田　一男

主なアクティビティ

◎青少年委員会

8月2日	第12回森の教室　厚真町にて 第3回マウンテンバイクレース	2004～ 2013～
2月14日	第20回青少年意見発表大会	1996～
2月14日	第9回こどもの声発表会	2007～

◎環境保全委員会

9月6日	石狩川河畔にて　自然再生植樹	2000～
9月17日/6月10日	洞爺湖温泉小学校にて第1回「緑はどうなった？」授業支援	2015～
5月20日	中島公園樹名板点検	2016～
6月22日～25日	寒地土木研究所構内チシマザクラから種とり、選別、植付	2015～

◎社会奉仕委員会

2月9日	雪まつり会場　献血呼び掛け	
3月5日	興正学園卒園生自立支援　5回目	2012～

国際アワード

◎国際会長・LCIF 理事長感謝状
Ｌ高野　倫行

331-A 地区ガバナーズ・アワード

◎地区クラブ　優秀賞
◎退会防止活動　優秀賞
◎事業資金獲得活動　優秀賞
◎ＬＣＩＦ　優秀賞

☆印象的な出来事
- ・ＣＮ２５記念アクティビティ開始
- ・３００％クラブ目指して準備開始
- ・チシマザクラ頒布目指しての種採取開始
- ・緑化支援活動洞爺湖温泉小学校　秋・春授業に初参加
- ・青少年意見発表会 20 年記念大会開催
- ・中島公園樹名板点検アクティビティ開始
- ・１０月より新事務局員就任

☆第９９代国際会長Ｌ山田實紘就任
☆３３１Ａ地区　Ｌ安部　尚明ガバナー
☆第９９回国際大会　福岡市で開催

2016.7 ～ 2017.6（設立 22 年度）



会長スローガン

慈悲の心と和の心

慈悲は人に尽くす意。即ち奉仕を表現しました。和には円くなってスクラムを組む気持ちを込めました。メンバー同士、意見が同じ事も有るし、違う事も有る。ぶつかる事もある。
クラブとして成長して行くためには底流に仲間同士の和が無ければならない。これを考えこの言葉をスローガンとしました。

会　長　L 岡田　聡　　幹　事　L 前田　伏樹　　会　計　L 比護　了造

主なアクティビティ

◎青少年委員会

9月11日	第13回森の教室　厚真町にて 第4回マウンテンバイクレース	2004～ 2013～
2月12日	第21回青少年意見発表大会	1996～
2月12日	第10回こどもの声発表会	2007～

◎環境保全委員会

9月4日	石狩川河畔にて　自然再生植樹 第38回クリーンアップ石狩湾新港	2000～
10月16日	新川堤海岸隣接地域にてチシマザクラ苗木点検･補植･植付	2016～
11月11日	中島公園樹名板点検	2016～
5月1日～3日	第１回チシマザクラ苗木市民頒布　　募金アクティビティ	2015～
6月10日	洞爺湖温泉小学校にて第2回「緑はどうなった？」授業支援	2015～

◎社会奉仕委員会

2月8日	興正学園卒園生自立支援　6回目	2012～
2月11日	雪まつり会場　献血呼び掛け	

国際アワード

◎国際会長・LCIF 理事長感謝状
L 高野　倫行

331-A 地区ガバナーズ・アワード

◎地区優秀クラブ賞
◎100 周年記念奉仕チャレンジ　優秀賞
◎青少年健全育成　優秀賞
◎ＬＣＩＦ　優秀賞
◎眼鏡リサイクル活動　優秀賞
◎アラート推進活動　優秀賞

☆印象的な出来事

- 国立研究開発法人土木研究所　寒地土木研究所
  創立 80 周年で構内にチシマザクラ記念植樹
- 寒地土木研究所構内にてチシマザクラ苗木市民頒布開始
- 青少年意見発表大会・こどもの声発表会で長年お世話になった新田先生退任。

☆３３１Ａ地区　Ｌ柏崎　昭朗ガバナー
☆第 100 回国際大会　シカゴ開催

2017.7 ～ 2018.6（設立 23 年度）



会長スローガン

豊かな心で、奉仕活動

2008 年 3 月入会。当時会員 45 名のクラブでした。
入会 9 年目で 23 代会長を引き受けた時は正会員 26 名と減少。
クラブ運営が課題でアクティビティ内容より、例会等の参加を促す事を第一目標としました。奉仕の神社の境内で理容業をしている L 能澤正明ガバナーと一緒に活動出来た事、大きな思い出でした。

会　長　L 前田　伏樹　　幹　事　L 竹内　信也　　会　計　L 忠海　健三

主なアクティビティ

◎青少年委員会

9月17日	第14回森の教室　厚真町にて 第5回マウンテンバイクレース	2004～ 2013～
2月4日	第22回青少年意見発表大会	1996～
2月4日	第11回こどもの声発表会	2007～

◎環境保全委員会

10月8日	新川堤海岸隣接地域にてチシマザクラ苗木点検･補植･植付	2016～
10月22日	石狩川河畔にて　自然再生植樹	2000～
11月10日	中島公園樹名板点検	2016～
4月27日～29日	第２回チシマザクラ苗木市民頒布　　募金アクティビティ	2015～
6月8日	洞爺湖温泉小学校にて第3回「緑はどうなった？」授業支援	2015～

◎社会奉仕委員会

2月9日	雪まつり会場　献血呼び掛け	
3月5日	興正学園卒園生自立支援　7回目	2012～

国際アワード

◎国際会長・LCIF 理事長感謝状
ゾーン・チェアパーソン　L 岡山　豊昌

◎国際会長・LCIF 理事長感謝状
L 高野　倫行

331-A 地区ガバナーズ・アワード

◎地区優秀クラブ賞
◎100 周年記念奉仕チャレンジ　優秀賞
◎青少年健全育成　優秀賞
◎ＬＣＩＦ　優秀賞
◎新しい奉仕事業推進活動　優秀賞
◎環境保全推進活動　優秀賞
◎ホームページ・IT 推進　優秀賞

☆印象的な出来事

・2018 年春、チシマザクラの苗木頒布が意義あった。

・札幌ドームにて“日ハム VS 楽天戦„のドーム例会開催。

☆2008 年 9 月グリーン盟友「小樽グリーン LCCN50 盟友の集い」で我がクラブ CN25 での北海道開催を決定。

☆2017 年 11 月 17 日～ 20 日、第 56 回アジア・フォーラム（台湾、高雄、台南、台北）に我がクラブ 14 名参加。

☆３３１A 地区　能澤　正明ガバナー

☆第 101 回国際大会　ラスベガス開催

2018.7 ～ 2019.6（設立 24 年度）



会長スローガン

未来と平和にウィサーブ

ＬＣ活動の繁栄には，希望ある未来と世界平和が不可欠と考え、スローガンを決めました。
厚真町での「森の教室」からわずか４日後に北海道胆振東部地震が発生し、全国の仲間からいただいたご支援には感謝の思いで一杯です。

会　長　Ｌ浅水　正　　幹　事　Ｌ甲斐　聡　　会　計　Ｌ帆先　久和

主なアクティビティ

◎青少年委員会

9月2日	第15回森の教室　厚真町にて 第6回マウンテンバイクレース	2004～ 2013～
2月10日	第23回青少年意見発表大会	1996～
2月10日	第12回こどもの声発表会	2007～

◎環境保全委員会

10月14日	新川堤海岸隣接地域にてチシマザクラ苗木点検・補植・植付	2016～
10月28日	茨戸川河畔にて　自然再生植樹	2000～
11月9日	中島公園樹名板点検	2016～
4月26日～28日	第3回チシマザクラ苗木市民頒布　　募金アクティビティ	2015～
6月12日	洞爺湖温泉小学校にて第4回「緑はどうなった？」授業支援	2015～

◎社会奉仕委員会

2月8日	雪まつり会場　献血呼び掛け	
2月12日	興正学園卒園生自立支援　8回目	2012～

国際アワード

◎国際会長・LCIF 理事長感謝状
Ｌ高野　倫行

331-A 地区ガバナーズ・アワード

◎LCIF キャンペーン 100 推進活動　優秀賞
◎青少年健全育成　優秀賞
◎環境保全推進活動　優秀賞
◎ホームページ・IT 推進　優秀賞

☆印象的な出来事

・「胆振東部地震」震源地厚真町
クラブアクティビティ「森の教室」に協力いただいている厚真町本田農場さんを気遣った。（無事）
北海道で長期に渡る停電。札幌で断水。

・西日本豪雨・関空冠水等100年に一度の大雨や大風続発。

☆３３１A地区L荒井　喜和ガバナー
☆第102回国際大会　イタリアミラノ開催

2019.7 ～ 2020.6（設立 25 年度）



会長スローガン

夢と情熱そして勇気にウィサーブ

物事の始まりは夢を持つ事。その夢を実現する為には情熱が必要。やり続ける中で困難に当たる事も有る。その時には勇気ある決断が大事。
この考え方は事業でも、ライオンズ活動でも不可欠・不変と思う処です。
組織を上手く回すには仲間意識が大切と考え、押し付けない事を第一儀に行動している積もりです。

会　長　L 竹内　信也　　幹　事　L 忠海　健三　　会　計　L 岡山　豊昌

主なアクティビティ

◎青少年委員会

8月25日	第16回森の教室　厚真町にて	2004～
	第7回マウンテンバイクレース	2013～
2月9日	第24回青少年意見発表大会	1996～
2月9日	第13回こどもの声発表会	2007～

◎環境保全委員会

10月27日	石狩川河畔にて　自然再生植樹	2000～
10月27日	新川堤海岸隣接地域にてチシマザクラ苗木点検･補植･植付	2016～
10月30日	中島公園樹名板点検	2016～
4月	第４回チシマザクラ苗木市民頒布　　募金アクティビティ　中止	2015～
6月	洞爺湖温泉小学校にて第5回「緑はどうなった？」授業支援　中止	2015～

◎社会奉仕委員会

9月12日	オータムフェスト　献血呼び掛け	
2月8日	雪まつり会場　献血呼び掛け	
2月21日	興正学園卒園生自立支援　9回目	2012～

国際アワード

◎国際会長・LCIF 理事長感謝状
L 竹内　信也
◎国際会長・LCIF 理事長感謝状
札幌グリーン LC
◎国際会長・LCIF 理事長感謝状
L 高野　倫行

331-A 地区ガバナーズ・アワード

◎LCIF 推進活動　最優秀賞
◎LCIF キャンペーン 100 推進活動　優秀賞
◎GST 推進活動　優秀賞
◎マーケティング・コミュニケーション活動　優秀賞
◎環境保全・アラート推進活動　優秀賞
◎情報テクノロジー推進　優秀賞

☆印象的な出来事
- ･新型コロナウイル感染拡大をパンデミック宣言
- ･2月末からメンバーの安全を考え例会･理事会中止。
- ･CN25ほとんどの事業を中止
- ･３３１ーA地区年次大会中止
- ･よさこいソーラン、北海道神宮祭中止
- ･MJF300%　メンバーの協力で達成。

☆３３１ーA地区　L鈴木　善一ガバナー
☆第103回国際大会　シンガポール開催中止



記念アクティビティ

25
Silver Anniversary



MJF 100% CLUB　2005 年
ＣＮ10 周年記念アクティビティ



MJF 200% CLUB　2009 年
ＣＮ15 周年記念アクティビティ



BLUE CLUB　2015 年
ＣＮ20 周年記念アクティビティ



MJF 300% Menbers

浅水　正	工藤　修	長土居聰	堀東恭弘
池田佳奈美	小松　隆	西野尾嘉拓	前田伏樹
大塚周雄	鹿野隆之	坡元智子	谷川原友美
岡田　聰	新松　茂	林　隆志	山口雅徳
岡田忠恭	高野倫行	樋口信弘	山崎健作
岡山豊昌	竹内信也	比護了造	山田一男
甲斐　聡	忠海健三	帆光久和	山本弘詔

MJF 300% CLUB　2020 年
CN25 周年記念アクティビティ







Lions Clubs International
FOUNDATION
300 W 22ND STREET • OAK BROOK ILLINOIS 60523-8842 USA • 630.571.5466 • WWW.LCIF.ORG

2020年4月

札幌グリーンライオンズクラブ
クラブ会長 Shinya Takeuchi様
およびクラブ会員の皆様

このたび、クラブが25周年の節目を迎えられますことを、心からお慶び申し上げます。
クラブ活動25年の間には、様々なアップダウンがあったことでしょう。個性も背景も異なる人間が集えば、意見もやり方もそれぞれ異なる中、時にはぶつかり合うことがあったかもしれません。それらを乗り越え、コミュニティと社会のために奉仕をするという使命のもと、25年間活動してこられた皆様に、心から敬意を表します。この25年の間に、多くの札幌市民が直接、または間接的に、皆様の活動から支援を受けてきたことでしょう。

皆様は、私たちの財団、LCIFへの貢献を通じて、グローバルなコミュニティでの奉仕を続けていらっしゃいます。貴クラブがこれまでに行われた多大なる寄付で多くのマイルストーンに到達してこられました。MJFでは10周年記念に100%、15周年に200%を達成され、20周年にはLCIに協賛し、ブルーフラッグを獲得されております。さらに、25周年記念には300%クラブの偉業を達成されました。心から敬意を表するとともに、感謝を申し上げます。

現在行っているキャンペーン100を通じてメッセージを送っています通り、100ドルの寄付で私たちの財団ができることはたくさんあります。皆様の寄付で、LCIFはライオンズクラブの活動を支援すると同時に、ライオンズクラブの会員の皆様に代わって、世界中で多くの奉仕を行い、多くの人々がより幸せになる機会を得ることができたのです。

貴クラブ会員の皆様のLCIFに対するご理解、世界の貧困や子供たちへの思いやりを心から賞賛いたします。LCIF理事長として、世界中の受益者を代表し、改めましてこれまでの多大なる寄付と、これからも私たちの財団をご支援いただくことに対し、心から御礼を申し上げます。

貴クラブの周年は、これを祝うと同時に、これまでのクラブの道のりを振り返り、これからクラブとして取り組む課題を見つめ直す良い機会です。皆様が決意も新たに、素晴らしいクラブ活動を続けていかれることを願ってやみません。

クラブ25周年、おめでとうございます！

Gudrun Yngvadottir

2019-2020年 LCIF理事長
グドラン・イングバドター



WE CARE. WE SERVE. WE ACCOMPLISH.

地域の宝物「チシマザクラ」 市民と共に　種から花へそして緑化へ

春夏秋冬、季節の移ろいを目で、肌で感じる事が出来る日本。その中、とりわけ北国に住む者にとって春は待ちこがれる季節。雪融け、そして桜への想い。開花は勿論、『何時咲くかな？例年通りかな？早いのかな？…と花咲く前にもわくわく感』そんな想い私だけではないでしょう。寒さに耐え、しゃがんで冬を過ごした者達へのご褒美そして励まし…桜にはそんな力があると思っています。

ここにご紹介する記念事業は2015年、構内に「チシマザクラ並木」を有する「国立研究開発法人土木研究所　寒地土木研究所」（以下寒地土木研究所）と「緑を愛し　地球環境を大切に！」を基本理念に持つ札幌グリーンライオンズクラブとで「チシマザクラ並木を地域の宝物として活用し、緑化に関わるプロジェクト推進」を目的に「千島桜基金に関する覚書」を締結した事から始まりました。



寒地土木研究所所長・甲斐会長覚書締結



構内チシマザクラに掛けている樹名板

チシマザクラをご存知ない方多いと思います。下記説明写真です。４月末～５月初めに開花します。平地における主たる植生地域は札幌以北と聞いています。

3年の歳月をかけ市民頒布

頒布の具体的な流れはチシマザクラが実をつける6月、我クラブメンバーが寒地土木研究所構内に赴き種採取、土造り・植付・越冬、２年目に頒布用ポット移植・潅水管理・越冬、明けて3年目10～15センチに成長した苗木となります。これら一連の作業を我クラブに在籍する樹木医指導のもとクラブメンバーが行い、約500ポット作成。花見時期、構内市民解放に合わせ来所した希望者に頒布しています。無料頒布ですが善意で市民ドネーションを戴いています。

「公衆から集めた資金は公衆の為の使用に帰されるべき」とのライオンズスピリットそのまま。

“さくら好き„な市民・官・ライオンズクラブ三者の想いが一致し、誇れるアクティビティとなりました。

自分たちで採種し育てた苗木。それが愛着を育み、小さな喜びが生まれ活動の推進力となっています。



市民ドネーション箱



苗木頒布風景

苗木は無料頒布ですが善意で市民ドネーションを戴いています。
基金の一部は洞爺湖温泉小学校「緑はどうなった授業」支援に使われています。

苗木のつくり方

◎１年目

果実採り



花が咲き終わった 6月ころに果実をつみ取る

用土、タネまきの準備



火山レキ、赤玉土、腐葉土の3種類の土を3:1:1の割合で混ぜ合わせる

まきつけ床の完成



用土の乾燥防止と箱の中への雑草侵入防止のために、ジャリをしく

◎２年目

タネまきから1年後



タネまきの翌年春には、まいたタネが発芽し、夏場くらいには　8cm程度の大きさの実生となる

床替え



まきつけ床の実生が 8cm 程度の大きさとなったら、　3本程度ごとにビニールポットに株分けする

養生



床替えした苗やまきつけ床は、植樹に用いるまでの期間中、水やりをかかさずに行う

◎３年目（配布年）



グリーン農園で約500ポットの苗木を準備



頒布用に準備した苗木ポット



◎第１回頒布から４年、樹高 70センチ、可憐に開花しました。

（2020年撮影）

認証15周年の植樹アクティビティその後と認証25周年の植樹アクティビティ

2007年と2008年「北海道森と緑の会主催街頭募金活動に参加」荒井山地区の町内会の協力を戴き荒井山緑地に記念植樹。 当時の記念誌に「10年後この地域が桜の名所になるのが楽しみです。」と記載



2007 年、2008 年、2009 年　荒井山緑地に植樹



2020 年春撮影。見事に開花しました。



CN15 グリーン盟友フォーラム　キタラ前記念植樹



左記 CN15 で植樹したヤマモミジ　成長しました。
2019 年秋撮影



2008 年 大通 10 丁目北側にエゾヤマザクラ植樹。
立派になって開花。2020 年撮影



2020 年　クラブで育成したチシマザクラ苗木を
中島公園に 3 本植樹。10 年後、穏やかな時代と
なり市民に楽しい花見の場を提供出来る事を願う。



アクティビティの記録

25

Silver Anniversary

青少年意見発表大会

札幌グリーンライオンズが主催します「第24回青少年意見発表大会」及び「第13回子供の声発表会」を令和２年２月９日ホテル札幌サンプラザにて開催いたしました。

キャビネットからＬ末神裕昭　第二副地区ガバナー、Ｌ鈴木仁志　青少年育成レオクラブ委員長、Ｌ太田治彦　ゾーン・チェアパーソン、Ｌ荒谷 治　ゾーン委員を来賓にお迎えいたしました。

青少年意見発表会は、立命館慶祥高等学校他8校13名の弁士に熱弁を振っていただきました。北海道新聞社　斉藤佳典審査委員長はじめ、７名の審査委員で審査。斉藤委員長により講評いただきました。僅差で最優秀賞は並びに北海道新聞社賞は、札幌大谷高等学校１年、中島紗那さんに決まり又、各賞の受賞者に竹内会長から賞状、盾、記念品が渡されました。昼食交流会ではテーブルスピーチをいただき、ライオンズローアで終了しました。

今年もご後援賜りました札幌市、札幌市教育委員会、北海道新聞社、全道高文連石狩支部弁論専門部の内山閣人先生はじめ、司会・進行に携わって戴いたスタッフの皆様に心からお礼申し上げご報告といたします。



1　2020年（令和2年）2月21日（金曜日）　北海道新聞

北海道新聞 さっぽろ10区トーク　2020年2月21日 金曜日 第332号　毎週火・金曜日発行

意見発表会 高校生と園児で〝ダブル出場〟

街道さん 11年ぶりの熱弁

北区

高校生による「第24回青少年意見発表大会」と幼稚園児や保育園児が1分間スピーチをする「第13回こどもの声発表会」が9日、札幌サンプラザで開かれました。青少年意見発表大会では、11年前のこどもの声発表会に出場した幼稚園児が高校生になって再び登壇。成長した姿を示し、主催した札幌グリーンライオンズクラブ関係者を喜ばせました。

青少年意見発表大会には札幌と近郊の高校生13人が出場し、自分の夢や世界の平和を願う思いなどについて熱弁を振るいました。

このうち、「感謝」と題して、感謝の気持ちを持って行動することの大切さを訴えた札東高1年の街道花さん(16)は2009年に開かれた第2回こどもの声発表会の出場者。幼稚園児だった前回も「みんなありがとう」のタイトルで、お弁当を作ってくれるお母さんや一緒に遊んでくれる友達への感謝の気持ちを話したそうです。

ライオンズクラブによると、二つの弁論大会の「ダブル出場」は街道さんが初めてで、「高校の弁論部が少なくなる中、本当によく出てくれた」と申琴聡実行委員長。街道さんは「何も知らないで元気に発表した幼稚園の時とは違って、今回は他の人の発表を聞いて、気付かされることが多かった」と話しましたが、しっかりと自分の考えを主張し、優良賞に輝きました。（小野高秀）

優良賞に選ばれ、表彰される街道花さん

最優秀は中島さん受賞

入賞者は次の通り（敬称略）

▽最優秀賞　中島紗那（札大谷）▽優秀賞　大沢祥子（札旭丘）、後藤友理恵（札第一）▽優良賞　街道花（札東）、西野七輝（北海学園札幌）、松尾海和（北海）、坂本安侑子（北海学園札幌）▽特別賞　内山明夏（北海）

最優秀賞に選ばれた中島紗那さん（左端）ら入賞者



最優秀賞・北海道新聞社賞　中島　紗耶さん



集合写真　地区役員の皆様にもご参加戴きました

寄　稿

北海道高等学校文化連盟弁論専門部長
北海学園札幌高等学校長
大西　修夫

札幌グリーンライオンズクラブ認証 25 周年、 おめでとうございます。
北海道高等学校文化連盟弁論専門部が関わらせていただいておりますのは「青少年意見発表大会」であります。 切っ掛けは、 大通ライオンズクラブ周年行事で高校生が意見を発表した折りに、 グリーンライオンズクラブ山崎健作さんがその場に居合わせ、 数日後に札幌商業高等学校長大竹不二男弁論専門部長を訪ねられ「何とか高校生の声を毎年聞くことは出来ないものだろうか」と訴えられたことによります。 熱意に押されて、 その場で実施する方向で検討すると即決されました。 当時のL佐々木 忠会長の下、 比護L、 竹内L、 藤田L、 馬酔木L、 坪田L、 山崎L等が中心となり、 話し合いが行われたと記憶しております。 翌年、 平成 9 年に第1回大会は実施されました。 皆様から 10 代の子供達の声を直接聞くことが出来る弁論大会は継続するべきだという声が上がり、 現在に至っております。
弁論専門部においては「新人大会」として位置づけられており、 この大会から巣立った弁士達が全国の舞台で活躍しております。 また、 この大会から端を発した「こどもの声発表会」は、 元弁論専門委員長新田修先生からの働きかけによるものです。「緑を愛し、 地球環境を大切に！」をスローガンに掲げられている札幌グリーンライオンズクラブ様ですが、 是非「緑と人を愛し」と付け加えられては如何でしょうか。 永年のご尽力に感謝申しあげて擱筆と致します。

こどもの声発表会





森の教室

2004年から都会の子供達を対象に厚真町で田畑や、沼地を含む里山を所有する本田農園さんに協力戴き「森の教室」を開催しています。当時、我クラブCN10周年記念アクティビティとしてL高野倫行会長の発案で、青少年の健全育成と環境保全の目的で、ボーイスカウト・カブスカウト23名、保護者と指導者12名、当クラブから15名、総勢50名の参加で始まりました。

里山にテントを張り、食後にはキャンプファイアーを楽しみました。以来、都会生活しか知らない子供達に自然と親しみ体感する場を作り、当クラブメンバーで樹木医でもあるL堀東恭弘による「植樹の大切さを模型で説明する授業」で自然からの恩恵・人との共生を勉強。学校の教室で勉強するのでなく、まさに「森の教室」。今も真剣に聞く子供たちの姿が目に焼き付いています。

「森の教室」の場を提供戴く本田さんは農業の傍ら里山から間伐した材木で炭焼き、シイタケ・ナメコ栽培に使う“ほだ木„切り出し、勿論建材としての木材も生産。その他、山菜・キノコ等里山が与えてくれる沢山の恵みを生活に利用・活用されて居られる方です。

2012年までの9回の森の教室は、上記の活動を中心に開催しておりましたが、2013年からは、「マウンテンバイク200分間耐久レース」開催へと形態を変えました。青少年育成の趣旨から小学生の参加費をクラブ補填し、労働アクティビティとしてレース参加者・サポート者を含め毎年150～180名分の食事（カレーライス・豚汁・枝豆・とうきび等）を提供。その主材料は我クラブ農園部会からの成果である「無農薬野菜」で賄っています。大鍋で作った料理は美味。「家に居る家族に・・、今夜もカレー・・・」とお持ち帰りする参加者も。大自然の中で食べる食事は美味い！

一昨年（2018年）9月、森の教室開催からわずか4日後に厚真町を震源地とする大震災が発生。その後のブラックアウトは皆さんの記憶にまだ新しいものと思います。この年の年末、当クラブのメンバーは本田さんへの支援を兼ねて本田農場の新米（ゆめぴりか・ななつぼし・おぼろづき）等、約500Kgのお米を購入させていただきました。



森から人が得る自然の恵みのお話



本田さんが作った炭を燃料に



本物の調理師さんです。





チームの一員。負けられない



賞品のお米に大喜び

2015年～2016年　会長 L岡山　豊昌
2016年～2017年　会長 L岡田　聰
2017年～2018年　会長 L前田　伏樹
2018年～2019年　会長 L浅水　正
2019年～2020年　会長 L竹内　信也
各年度の実施したアクティビティ毎に纏めて記載する。

クリーンアップ石狩湾新港

2016/9/4

浜辺と海をきれいにする会主催「第38回クリーンアップ石狩新港浜」アクティビティに参加。 38年の継続さすが、 大型バス数台も駐車。 写真の通り大勢のボランティアが良い天気に恵まれゴミ拾いに精を出す。



中島公園樹名板点検

2016/5/20、2016/11/11、2017/11/10、2018/11/9、2019/10/30

平成2010年から開始5年継続で2015年に終ったアクティビティ「中島公園樹名板」が色んな理由で曲がっている・ワイヤーが伸びてる・外れてるものあり。そこで、ワイヤー取り換え・裏側を接着剤固定などして補修全て完了。 毎年の点検の必要性を痛感する。



「緑はどうなった？」授業応援

2016/6/10、2017/6/9、2018/6/8、2019/6/12

「緑はどうなった？」授業アクティビテに参加。2000年に噴火した有珠山。 噴火に伴う火山泥流で多大な被害が発生したが犠牲者はゼロであった。 授業は洞爺湖温泉小学校1年～6年生約50名が火山噴火で荒廃した30度近い斜面地に新たな苗を植え森を復活。一歩を記す作業を行う。 秋に行う木々の種採取から今回の植付けまで「苗育成」に関わる費用の一部を「千島桜基金」より支援。


湖畔の樹木から採取した種から育成した約 20 種の苗


記念インタビューお願いした岡村先生の植え方指導


植樹後 11 年。大きく成長しました

チシマザクラ苗木市民頒布

2016/6/25、2017/5/01、2018/4/28、2019/4/26

チシマザクラ開花時、寒地土木研究所構内が一般開放。それに合わせ毎年市民にチシマサクラ苗木をプレゼント。
※詳細は「25 周年記念アクティビティ」のページ



石狩川河畔自然再生植樹

2017/10/22、2018/10/28、2019/10/27

NPO 法人茨戸川環境市民フォーラム主催「石狩川河畔で自然再生植樹しよう！」活動に参加。この活動は2000年から始められており悠久の石狩川、その河畔に自然を再生する活動です。植樹するのは石狩川・当別川河畔で採取し、種から育てた20種類の苗木です。直径3mのサークルに10本の苗木を植えます。







新川通りチシマザクラ植樹

2016/10/16、2017/10/8、2018/10/14、2019/10/27

新川通りチシマザクラ植樹アクティビティをおこなう。現在エゾヤマザクラを植栽しているが日本海側からの吹き込む浜風の影響で枯死が目立つ。
新川河川管理者が岡村教授に支援を依頼。農園部会で育てたチシマザクラ苗木を新川通り桜並木石狩寄り右岸植樹。







今から植える３年目の苗木

自立支援

「社会福祉法人　興正学園」の高校卒業生が独り立ちするに当り「自立支援」と名付け支援金をお渡ししています。 新社会人となるに当りスーツ・靴等、 身の回り品や家電品購入等に利用されるとお聞きしています。
贈呈の場で歴代会長が毎回口にされるのは「とにかく一生懸命やりなさい」の言葉。
自らが歩いて来た経験則から出る金言です。


卒園生にお祝いと励まし


９月興正学園学園祭　盛大でした

寄　稿

興正学園　施設長　秦　直樹

この度、 札幌グリーンライオンズクラブ認証25周年記念にあたり心よりお祝い申し上げます。
私たち興正学園は、 2012年から札幌グリーンライオンズクラブ様より、 自立支援アクティビティとして、社会に出ていく子どもたちに自立支援金を継続的に頂いております。
児童養護施設は、 基本的に18歳で施設を退所し自分の進路を目指していくのですが、 その年齢での自立は大変厳しく、 誰もが不安を抱えています。 こうした中、 札幌グリーンライオンズクラブ様からの継続的なご支援は、 子どもたちの生活の一翼を担い、 大変ありがたく感じております。 自立支援金の受け渡しでは、 札幌グリーンライオンズクラブ様から激励の言葉を頂き、 こうしてたくさんの方々が、自分たちを支援してくださることを肌で感じ取り、 社会に出ていきます。
現在のそして次の世代の子どもたちのために、 今後とも素晴らしい活動を展開して頂くことを願い、札幌グリーンライオンズクラブ様の益々の発展を心からお祈りいたします。

献血呼び掛け

新型コロナウイルス騒動の中、 例年通り「さっぽろ雪まつり献血アクティビティ」を行いました。 来場者が減少するにもかかわらず、 クラブメンバー５名の巧みな声掛けにより、勧誘人数が過去最高値に近かったと思われます。 声掛けの基本は「数多い事。 この人ダメかな？と思いこまない事。」





オータムフェストは低調でした

出会い　札幌グリーンＬＣ

岡山せとうちライオンズクラブ
Ｌ村上　純一

１９８９年、マイアミにて第７２回国際大会が開かれ姉妹クラブの灯は遠くアメリカの地で芽生えました、結成まもない我がクラブは毎回のように国際大会に参加し出会いとなったマイアミにて当時、札幌パイオニアＬＣのメンバーと意気投合し一面識もなかった会員同士が短期間の内ではあったが友情が芽生え、１９９１年、第７４回国際大会がブリスベンにて開催された折再会を得てこれを期に交流へと進み、例会訪問を札幌の地へ招かれ、後、姉妹提携促進派の会員にて結成された「札幌グリーンＬＣ」との姉妹クラブ締結が１９９６年４月２３日　岡山プラザホテルにて調印されました。

以来２４年間、相互訪問を重ね、定山渓やら登別の雪見例会は厚心にてのおもてなしを受け感激の一夜になった事を今でも記憶の中で光を放っております。

我クラブの１５周年事業の一つとして中国、洛陽市の山岳地帯に小学校建設アクトを取組んでいた際、資金調達に苦心をしている事を知り多額の資金協力を申し出され、
友情に支えられて無事事業が行えました、当時の事に思いを馳せると友愛の尊さを再確認し感謝の気持ちを改めて抱いております、ゴルフでの交流、懇親会での酒酌み交わす一時、これからも更なる親交を深めて参りたいと存じます。

改めて貴クラブ２５周年のお祝い申し上げ会員各位のご健勝をお祈り申し上げます。

２０２０年　５月



グリーン盟友のつながり

札幌グリーンライオンズクラブ
L 忠海　健三

我がクラブとグリーン盟友との関わりは、クラブが認証を受けてから2年目に、岩見沢グリーンLCのスポンサーにより、1996年に加盟したと聞いております。私自身は入会したのが2002年11月で、初めての盟友参加が入会から2年後の2004年11月、福山グリーンLCのCN30でした。式典を福山市のホテルで開催した後、盟友の夕べが「ハワイ」で行われ、11月7日から11日まで5名でハワイを堪能。鈴木幹夫Lが操縦するセスナ機に同乗し、1時間怖い体験をしてきました。

その翌年の当クラブのCN10では、全国から20クラブの盟友クラブが参加し、総勢200名以上で大いに盛り上がったことは、まだ記憶に残っています。二次会会場の「ジョージの城」も参加者が溢れて、入り切れない状態でした。

その後、15年の間に、全国の盟友クラブの集いに積極的に参加していた藤田哲夫L・川邊祥子Lが亡くなり、鈴木幹夫Lは退会。参加クラブも、全国的な会員の減少により古川・岡山が解散し、仙台・福山は合併、函館は退会、小樽も2020年3月で解散し、10年前に高松が加入したものの、現在15クラブの加盟となっております。

私自身は、会長・幹事時を中心に11クラブ訪問していますが、行く先々で普通の観光旅行では味わえない熱烈な歓待を受け、特に歴史があるクラブでは、呉の江田島海軍兵学校跡地、岡山の高松城跡地、浜松の三方ヶ原古戦場跡地等、身近に歴史を感じる機会をいただきました。宝塚の駅前では、音楽学校の女学生に元気よく挨拶をされたことには、驚きと好印象を感じました。

又、何度か参加していると、必ず顔を合わせる、盟友の集いに毎回熱い気持ちで参加している全国の諸先輩Lに出会えるのを楽しみにしています。

今回、新型コロナウイルスの蔓延で残念ながら、当クラブのCN25は取りやめとなりましたが、終息後には、盟友の心がつながった全国の仲間たちと元気に再会できることを願っています。



参加各クラブが盟友のメロディーで郷土を唄う





記念インタビュー

25
Silver Anniversary

ゲスト　岡村　俊邦氏
特定非営利活動法人　近自然森づくり協会　理事長
北海道大学大学院終了　農学博士
北海道科学大学　名誉教授
著書「生態学的混播・混植法の理論　実践　評価」（考案者）

インタビュアー　工藤　修
札幌グリーンライオンズクラブ所属

◆森林生態系（自然な森林）について

工藤：　先生の緑に対する想いを最初にお伺いし、想い重なる部分を札幌グリーンライオンズクラブ今後の活動指針にして行きたい考えです。


対談の様子

岡村：　最初は森・海の話をします。森の意味や人の活動が分かり易いのは島です。具体的には昔無人島で森があった天売島。その後、人が住みニシン漁が盛になったが輸送手段無い時代、薪でニシンを煮て当時肥料として価値があった“ニシンかす„を作った。燃料は薪。結果木を切りつくし裸の島となった。その後、我々の若い頃離島ブームになり人が押し寄せて来たが沢水が枯れ夏場観光客が風呂にも入れなくなった。

工藤：　それでは人来ませんよね。

岡村：　そこで北海道が水源林整備を積極的に行い裸の島に森が戻って来た。山に木を植えると何故良いか？の理屈は表面に土が出来る、直射日光が当たらないので表面の土が乾燥しない、結果降った雨が地面に浸み込んでいく。森が無い時は雨水が早いスピードで直接海にながれてしまう。森には浸み込ませる力と浸み込み土を創る役割がある。そのうち風で木が倒れはじめた。原因は同じ針葉樹で混みあっていて根が浅く、枝のはり方も同じ様相だった。
木と木が競争状態。

工藤：　なるほど、当時植林と言えば針葉樹だったと言う事ですね。

岡村：　森と言うのは色んな木が入り混じった混交林方が安定するのです。ここで木を植えているのは木材を採ろうとしているのでない。木を植え表土を厚くし乾かないようにして土に水を浸み込ませ地下水にしてくみ上げ水道水として使う。水源林なのです。

工藤：　島で木を植える目的は伐採して売るのでなく水を創ると言う事なのですね。

岡村：　新しく森を創る時には針葉樹・広葉樹入り混じった森にしようとしている。私は何のために森を創るかという目的をはっきりさせ、目的に合った森を創ろうと言う事で活動している。
森が大事と言う理由の１つは水源。雨水は地面に浸み込んだら土の中ゆっくり移動し沢に湧き出す。もっと深く進むと海に出て真水が湧きだす。そこに海藻も育つ。

工藤：　利尻昆布が美味しいのは利尻山があるからと聞きました。水は森から来ているのですね。

岡村：　今、海に海藻ない状態が出ている。地下水湧きだすところにミネラル分有るし、海鳥等の排泄物等も相まって結果海が豊かになる。

工藤：　ウニが育つのですね。海藻無いのはイソヤケですね。

岡村：　そうそう、天売島もイソヤケ始まっている。森を整備すればそれが抑えられる。


森を傷めない馬による木材の搬出作業（馬搬）

岡村：　針葉樹だけの森は安定性無く、古いのは50年以上経って倒れ出して来てるいので手を入れ、広葉樹交えた森づくり活動が私の携わっている「近自然森づくり」と言っている。

工藤：　先生のお名刺にある現在の活動ですね。

岡村：　まず安定している木を探し、隣接している木を取り除くと安定している木が根をのばせる、光も享受できる。札幌グリーンライオンズクラブと協力しながら洞爺湖温泉小「緑はどうなった？」授業（注１）で行っている様なユニットの中に多種類の木を植える方法をとっている。（注２．生態学的混播・混植法）加えて伐採した木を捨てていた。もったいない話。近自然森づくりの仲間、林学を学んでいる学生たちを連れて行って「現場」を教えている。

工藤：　理論と現場違いますからね。

岡村：　学生の時に現場に行って何が大事か、何が大変なのかを経験させそういう人間が林業行政に入り、学んだ事を頭に置きながら仕事すれば日本の森も良くなるのではと考えている。

工藤：　伐採した木はどうするのですか？

岡村：　島でサウナ小屋やキャンプ場炊事の洗い場作った。来年から３年間はシーカヤック（カヌー）置き場所作る。風で倒れる様な森を安定させ、島の人が水源として利用できるように、海から良いモノが採れるように、伐採した木を地域活性化に使う。これが森創りで大事な話。

工藤：　伐採から利用まで一つのストーリーになっていると言う事ですね。


伐採した木で建設したサウナ小屋の内部


伐採した木で建設したキャンプ場の洗い場（清流庵）と参加した次代を担う若者達

岡村：　そう言う活動は民間のNPOだと出来る。何で「近自然森づくり」やっているか。スイスの方法なのです。スイスの森づくりはフォレスターという人達がいて、市町村に属しそこの森林どうするかはその人の責任・権限。だから個人がヤマを持っていても勝手に切ってはならない。フォレスターが森の手入れをしながらどうやって切ってどう運び出すかどう売るか、山の持ち主にどう利益を出すかをやってくれる。

工藤：　長期的に見ているのですね。

岡村：　繋がりがある。森づくりとか植樹したいとか言う方々居られるが、目的の議論がはっきりしていない場合が多い。

工藤：　恥ずかしながら私も「木を見て森を見ず」大きな考え方が必要ですね。

岡村：　こういう事を話して少しずつ興味持っていただく方増えて来つつある。良い事と思う。

◆生態系サービスの享受

岡村：　原生林は人類にとって大切なのだけど里山は地元にとってプラスになる。生態系サービスと言って居る。水・魚・色んな自然が人間にサービスを与えてくれる。秋刀魚が秋になると口に入る・・・そういう生態系のサービスを受けている。私は里山の様な人間にサービスを与える森を持続的に作ったり保全したりしたい。景観も大事。
新緑の時期にはカツラが赤くなり、紅葉時期「金銀彩錦」に、色んな木が生えていれば色んな色に染まります。きれいだし、きのこ出来るし蝶々も飛ぶし・・・人の心にも良い。

工藤：　自然を大切にすることは結果として人の生活を守り、癒しや楽しみを返してくれるのですね。

岡村：　山に人間が入って木を切った事も有り、種を飛ばす木も無くなって来ている。そこは人間が苗を作って植える。時間経てば植えた木から自然に種が飛んで自然に森が循環する。エコロジーにも良いし、エコノミーにも良い。

工藤：　現実スパン長い話だから両方無いと長続きしませんよね。ご褒美として愉しさ＝景観であったり、お水であったり、木の実だったり・・・そういうご褒美があれば頑張れる。

岡村：　色んなサービスがご褒美になるのです。

◆石狩川流域 300 万本運動

工藤：　先生の取組で石狩川流域 300 万本運動のお話聞きましたがきっかけは？

岡村：　川の岸辺にはかつて河畔林と言うのがあった。その外側に湿原があった。河畔林にハルニレ・ヤチダモ等の大木有ったが人間が切った。樹洞のある大木にシマフクロウがいた。湿原にタンチョウも居た。石狩川にはチョウザメも居た。そのころ川は蛇行していた。湿原を農地に変える為まっすぐにした。近くに有る木は全部切った。木があると流れに邪魔になり川の水位上がり氾濫の原因となる。

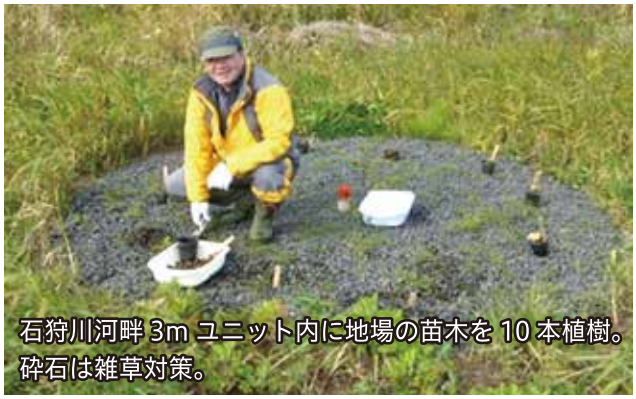
工藤：　そう言う事は知らなかった。

岡村：　石狩川 300 万本植樹運動は川の周りに本来の木がほとんどなくなった。川の近くで国・市町村が持っている土地に本来地域に有ったと思われる森を創っている。

工藤：　札幌グリーンライオンズクラブが協力している石狩川植樹活動はその一環ですか？

岡村：　そうです。300 万本というのは石狩川流域の人口が約 300 万人。一人 1 本の意味。

工藤：　やっと今繋がりました。地域で採種し育てた苗をその地域に植えたのですね。
（生態学的混播・混植法）


石狩川河畔 3m ユニット内に地場の苗木を 10 本植樹。碎石は雑草対策。

岡村：　こういう形態は石狩川に限らずどこの川も。山の森・川の森がある。山の森は自然の木を切って針葉樹植えた処も或る面積有るけど、かなりの面積は天然林で残っている。しかし川の森はほぼ切り尽している。合併で数変わったが流域 48 市町村。「市町村の木」と言うのがある。その木をそれぞれの場所で植えて行く話あったが「市町村の木」に外来種もあったし繋がりが無い。石狩川の環境・生態系を繋げたいというのが目的だったから市町村の木を植えても繋がらない。

工藤：　ポプラとかニセアカシアとか身近に有る木が外来種と最近知りました。

岡村：　外来種全て悪いわけでなく、侵略的外来種と言うのは植えた処に収まらない。
種飛ばす。本来北海道の木が生えるべき処を占領されてしまう。

工藤：　洞爺湖温泉小「緑はどうなった？」授業でも地場の苗木を砂防ダム周辺に植樹協力しています。10 年位前植樹した処は結構大きくなっていましたよね。



洞爺湖畔樹木から採取した種を苗木にして植樹。

岡村：　早く大きくなって早く寿命を迎える木、ゆっくり大きくなって大木になる木もある。早く大きくなる木を見ると植えた人も安心する。

工藤：　なるほど、そうですね。


洞爺湖温泉小「緑はどうなった？」授業風景

◆森づくりアクティビティは地域貢献できたか？

工藤：　我がクラブの活動は世の中の役に立っているのでしょうか？

岡村：　最初にお話した様に森を創れば、人間はサービスを受ける。そのサービスが札幌グリーンライオンズの皆さんだけじゃなく札幌市民に永遠に活きて来る。

工藤：　今クラブ最大のアクティビティとして寒地土木研究所でチシマザクラの種をとり、越冬させて翌年ポットに植え、更に次の年の花見シーズンに市民配布しています。
どうしてそうしたか？
サクラ植える場所を探すのは大変な話で市民に配れば市民がそれぞれ自分の考えで庭に植えるだろう。そうすれば市内に 100 本でも 150 本でも生き残ったさくらが増えるだろう。そんな考えでやっています。

岡村：　チシマザクラ、本当は札幌にないものです。

工藤：　寒地土木研究所内看板にも釧路方面霧多布からと有りますよね。


「生態学的混播・混植法」による石狩川河畔植樹活動

岡村：　厳密に言えば国内外来種。でも侵略性がない。だから拡がっていかない。庭に植えても公園に植えても個人として楽しめるもの。問題ない。
ニセアカシアみたいにそこで収まって無くて種が飛ぶ。あれは良くない。

工藤：　良かった。問題なし。ありがとうございました。

（注１）洞爺湖温泉小学校「緑はどうなった？」授業。泥流対策で築いた砂防ダム周辺に洞爺湖畔樹木から採取した種を苗木にして植樹。防災と景観の調和、子供達の郷土愛を育む活動。

（注２）「生態学的混播・混植法」とは工事や災害後の裸地を地域に自生する樹林で再生させる森づくりの方法。その地に植生する多種・多様な苗木を導入し競争状態を作りその場所、時々の環境に適した種が生き残ることを基本的考え方とする。

《対談を終えて》

岡村先生とはクラブアクティビティの中で何度もお見かけした事は有りますが、お話したのは初めて。対談として成立させなければならない、私でインタビュー大丈夫かな？とドキドキで臨みました。

先生は分かり易い言葉で語って戴き、私も次第に緊張がほぐれ理解力が回復。印象的だったのは里山のお話。里山がなぜ必要なのかを具体的事例交えお話し戴きました。山の緑は空気を浄化しきれいな水を蓄えてくれる。関連して人は色々な恩恵を戴いている。ただ、人が手入れし、木を利用しないと荒れる。クラブアクティビティ「森の教室」でお世話になった厚真町本田農場　本田さんも同じ話をしておられたのを想い出しました。先生は現場を大切にされ、現場で汗をかいて来られた方と感じた次第です。

人が人らしく、心も身体も健やかな生活をこの先も送れる様、改めて緑ある環境を大切にして行こうと思いました。ありがとうございました。

部会報告　農園部会

2004 年 CN10 記念アクティビティとして青少年に青空のもと土に触れる機会を与える目的で「グリーン農園」を石狩市生振に開園。子供達が自由に作付け出来る畑も準備、農作業の難しさ楽しさ収穫の喜びを体験する。はるな作業所と収穫祭を共催し多くの大地の恵みをお土産にする。

2012 年丘珠飛行場近くに移り、新たに 2 坪のビニールハウス設置、苗作りを行い農作業の幅が広がるが凍害で苗全滅した年あり農作業の厳しさ知る。バーベキュー専用コーナーを設け収穫祭を楽しむ。青少年育成委員会「森の教室」アクティビティに連携し炊き出しの食材としてジャガイモ・玉ねぎ・人参・ネギ、デザートのトウモロコシを継続提供する。

2016 年現在上篠路と北丘珠鉄工団地そばで開園 16 年目、当初メンバーが 5 名元気で老体にムチ打ち鍬を杖代わり健康にと頑張っている。環境保全委員会「チシマザクラ」アクティビティの苗木を毎年「種採取・植え付け・越冬・ポット移植・灌水管理・越冬・苗木頒布」のサイクルで 500 本準備する。中島公園内に植樹した「2020 年　認証 25 周年記念植樹」チシマザクラ苗木も育てる。

畑はすべて農家からの借地　雑草だらけにしない様小型耕運機など使い草取りに励み綺麗に使うことに心がけている。

グリーン農園



チシマザクラ苗木









































部会報告　ゴルフ部会

発　　足	１９９５年
部会立上の動機	前身のパイオニア LC 時代にもゴルフ部会があり、SGL 立上と同時に設立。クラブの中で固い話し合いあっても「ゴルフは別次元。集まって楽しくやろう。」とした。
モットー 活動状況	・初代部会長が L 竹内会長。途中、部会長持ち回り制の時代あったがここ久しく竹内会長・谷川原幹事体制。そろそろ若い者に譲ろうかの気持ち持っている。 ・4 月末～ 11 月末まで年間約 8 回開催。部会員のホームコースを順に廻っている。この処ハンディキャップ戦からダブルペリア戦に変更するも実力派はゆるぎなし。ハンデ頭は竹内部会長のハンデ２。 ・親睦をモットー。他クラブとの交流戦開催。他クラブのチャリティーコンペにも部会メンバーが数多く参戦しています。 ・賞品はメンバーに魚屋さん、肉屋さんを生業にしている人が居るので苦労なし。 ・大体 4 組位でまわる。外部の人の参加 OK。楽しい雰囲気を知って貰って新入会員として入会して貰いたい・・・との思惑も有る。
成　　果	・直近で 2020 年盟友の呉グリーン LC コンペ、オセアルの広島コンペ共に L 竹内・L 高野参戦。親睦を深めました。部会コンペは楽しく仲良くやるのが成果との事でした。
誇れる記録 ・記憶	・全国グリーン盟友コンペに竹内部会長参戦すると「今日もとっていくのかい？」と警戒されるとの事でした。盟友で遠征しての何度も優勝。それは警戒されるでしょう。













謝　辞



札幌グリーンライオンズクラブ

認証25周年記念実行委員長　Ｌ甲斐　聡

草木の緑も深まり、爽やかな初夏が到来しました。本来であれば今年６月、認証25周年を迎える良き日に御来賓の皆様、国際理事Ｌ川島　正行、元国際理事Ｌ杉本　忠雄、331複合地区ガバナー協議会議長Ｌ渡辺　修、331-A地区ガバナーＬ鈴木　善一、キャビネット役員、スポンサークラブであります札幌パイオニアＬＣ、グリーン盟友呉ＬＣを始め全国盟友クラブ、姉妹提携岡山せとうちＬＣ、各ブラザークラブの多くの皆様に御臨席を賜り、加えてご指導いただいた多くのライオン、活動のパートナーの皆様をお迎えし、共に祝うべくＬ岡山豊昌事務局長はじめクラブメンバー一同が式典、祝賀会準備を進めて参った処であります。しかしご案内の通りCN25に関するすべての行事中止と致しました。

私ども札幌グリーンLCは1995年６月札幌パイオニアLCのスポンサーによりＬ山本弘詔、Ｌ比護了造、Ｌ高野倫行を中心に結成され「緑を愛し、地球環境を大切に」を基本理念とし奉仕活動を実践して参りました。この間、紆余曲折有りましたが、国際協会331-A地区所属として誇りあるクラブになったと思っております。

２月以降中止決定までの道程は開催か中止か、逡巡の日々でした。２月末、北海道知事から１回目の非常事態宣言が出された際“式典・祝賀会日程は６月中旬、その時点では収束の可能性十分有るのではないか„と考えておりました。しかし、心中穏やかなはずは無く、判断の第一儀はご出席者・クラブメンバーに健康被害あってはならない。前のめりに実施する事無く、収まらない状況と判断すれば中止と考えておりました。結果的に中止へと背中を押したのは札幌市民が楽しみしております札幌ライラック祭り、よさこいソーラン祭り中止発表でした。

中止判断から約１ヶ月経ちました。一時収まったかに見えた北海道、特に札幌における感染者が再び増加し始めています。中止判断は大変残念である反面、ホッとしているのも正直な処でもあります。

CN10記念誌に「シルバーアニバーサリーには四半世紀のWe Serveを祝いたい。」と当時会長のＬ高野倫行が記載しております。CN25は特別な数字でありこの時を目指し、高い志を持ち奉仕事業を遂行して参りました。到達点の式典・祝賀会完遂する事でクラブ内の結束強まり、必ずや新たなスタートに向けエネルギーを生む。そうしなければならないと考えておりました。ご祝辞で心こもった励まし多数戴きました。「物事明るく考えよう。」そう言い聞かせ前に進んで行こうと考えています。謝辞のページに相応しい文章でないかも知れませんがご容赦下さい。

末筆になりますが皆様のご多幸心よりお祈り致しますと共に、今後ともご指導ご鞭撻のお願い申し上げご挨拶といたします。

会員名簿



あさ みず　ただし
浅水　正

1954.7生　1991.8入
歴28年
◆座右の銘・言葉など
負けるが勝ち　急がば回れ



いけ だ　か な み
池田　佳奈美

1967.7生　2012.4入
歴8年
◆座右の銘・言葉など
タイ国のゴルフ場の支配人として頑張っております。



おお つか　ちか お
大塚　周雄

1957.11生　2014.7入
歴6年
◆座右の銘・言葉など
海軍の五省　至誠に悖るなかりしか、言行に恥づるなかりしか
他　全五省



おか だ　ただ やす
岡田　忠恭

1942.3生　2002.7入
歴18年
◆座右の銘・言葉など
敬愛の心で　ウィサーブ



おか やま　とよ まさ
岡山　豊昌

1952.10生　2002.7入
歴18年
◆座右の銘・言葉など
「権利と義務」ライオンズに入会して「奉仕には対価を求めない事」を学びました



か い　さとし
甲斐　聡

1961.6生　1997.4入
歴23年
◆座右の銘・言葉など
名もなき民の心もて



く どう　おさむ
工藤　修

1950.9生　2012.6入
歴8年
◆座右の銘・言葉など
人間万事塞翁が馬



こま つ　たかし
小松　隆

1961.4生　2001.9入
歴18年
◆座右の銘・言葉など
人にされたいと思うようなことを人にすべきだ



しか の　たか ゆき
鹿野　隆之

1963.4生　2017.6入
歴3年
◆座右の銘・言葉など
青雲の志　情熱にまさる事なし



しん まつ　しげる
新松　茂

1956.6生　2010.12入
歴9年
◆座右の銘・言葉など
変えるにはリスクが伴う。
変えなければもっと大きなリスクが伴う。

会員名簿



たか　の　　のり ゆき
高野　倫行

1941.12生　1992.2入
歴28年
◆座右の銘・言葉など
Play The Ball As It Lies



たけ うち　　しん や
竹内　信也

1946.4生　1986.4入
歴33年
◆座右の銘・言葉など
一生懸命



ちゅうかい　　けん ぞう
忠海　健三

1950.5生　2002.11入
歴17年
◆座右の銘・言葉など
己の欲せざることは人に
施すこと勿れ



なが　ど　い　　さとし
長土居　聰

1941.10生　2008.11入
歴11年
◆座右の銘・言葉など
慌てず忙がず健康第一



にし　の　お　　よし ひろ
西野尾　嘉拓

1964.9生　2016.4入
歴4年
◆座右の銘・言葉など
浮利を追わず
でも、なかなか難しい・・



はやし　　たか し
林　隆志

1969.6生　2016.1入
歴4年
◆座右の銘・言葉など
明けない夜はない
止まない雨はない



ひ ぐち　　のぶひろ
樋口　信弘

1958.5生　1996.4入
歴24年
◆座右の銘・言葉など
できない理由を考えるより、
できる方法を考えよう



ひ　ご　　りょうぞう
比護　了造

1942.2生　1988.3入
歴32年
◆座右の銘・言葉など
光陰矢の如し在籍25年
「老いたる馬は道を忘れず」
ライオニズムに精進します。



ほ　さき　　ひさ かず
帆先　久和

1961.2生　2006.9入
歴14年
◆座右の銘・言葉など
吉凶禍福は糾える縄のごとし



ほり つか　　やす ひろ
堀束　恭弘

1954.8生　2005.4入
歴15年
◆座右の銘・言葉など
捲土重来 この災害を乗り越え
皆で30周年を迎えたい。

会員名簿



まえだ　ふしき
前田　伏樹

1951.3生　2008.3入
歴12年
◆座右の銘・言葉など
世のため・人のために
奉仕する心を忘れぬこと



やがはら　ともみ
谷川原　友美

1950.8生　2004.7入
歴16年
◆座右の銘・言葉など
いつかできることはすべて
今日でもできる。



やまぐち　まさのり
山口　雅徳

1972.5生　2008.12入
歴11年
◆座右の銘・言葉など
一期一会



やまだ　かずお
山田　一男

1949.1生　1995.4入
歴25年
◆座右の銘・言葉など
素直のこころ



やまもと　こうしょう
山本　弘詔

1943.8生　1980.10入
歴40年
◆座右の銘・言葉など
人の短を言うなかれ
己の長を説くなかれ



やまざき　けんさく
山崎　健作

1927.10生　1986.3入
歴34年
◆座右の銘・言葉など
学問より實行
新渡戸　稲造氏が来札時書いた
言葉です。



はもと　ともこ
坡下　智子

1957.5生　2012.8入
歴8年
◆座右の銘・言葉など
不撓不屈

事務局員

にしきおり　みわこ
錦織　美和子

CN-25 周年実行委員会組織図

札幌グリーンライオンズクラブ

CN25 実行委員会

京王プラザホテル
CN25周年式典祝賀会
2020/6/19
グリーン盟友フォーラム
2020/6/20
グリーン盟友のタベ
2020/6/20

会　長
竹内信也

幹　事	忠海健三
会　計	岡山豊昌

大会委員長
甲斐　聡

事務局長
岡山豊昌

MJF300%資金委員会	
委員長	比護了造
委　員	高野倫行
	岡田忠恭

顧　問		
元大会実行委員長		担　当
初代会長	山本 弘詔	姉妹クラブ接待委員会
CN5	比護 了造	全　般
CN10	高野 倫行	CN25式典及び記念事業
CN15	樋口 信弘	グリーン盟友委員会

CN25周年委員会	
委員長：**山田 一男**	
記念誌	式典・祝賀会
部会長	部会長
工藤　修	大塚 周雄
新松　茂	浅水　正
池田佳奈美	坡下 智子

グリーン盟友　委員会			
委員長 ：**岡田 忠恭**			
盟友ﾌｫｰﾗﾑ	盟友のタベ	ｴｸｽｶｰｼｮﾝ	ゴルフ
議長	部会長	部会長	部会長
竹内信也	前田 伏樹	帆先 久和	山口 雅徳
書記	掘束 恭弘	岡田　聰	谷川原友美
忠海健三	長土居　聰	小松　隆	鹿野隆之
	山崎 健作		

姉妹クラブ委員会	
委員長：**忠海 健三**	
委　員	西野尾嘉拓
委　員	林　隆志

記念事業推進委員会	
委員長：**浅水　正**	
21代会長	岡山豊昌
22代会長	岡田　聰
23代会長	前田 伏樹
24代会長	浅水　正
長期リサーチ委員会	

※　敬称略

編集後記

昨年6月「認証25周年事業協議会」発足。“魂は細部に宿る„ メンバーがそれぞれの持ち場で細かいところまで一生懸命に労力を掛け「気持ちを込めてお迎えしよう」が出発点でした。ご列席戴く皆様にとっても、クラブメンバーにとっても、必ずや思い出深い“シルバー アニバーサリー„ となるはずと信じて進めて参った次第です。やむを得ない事情で記念誌のみがカタチに残る事となりました。その中、励ましや心温まるご祝辞・ご寄稿を多数賜りました。また突然の原稿依頼にもかかわらず、快く引き受けて戴きました皆様、ここに改めて感謝の意を表すと共に厚く御礼申し上げます。

今回のテーマはMJF300%とチシマザクラです。これに則り、後に残る記念誌表紙と扉ページに象徴であるチシマザクラをあしらいました。他方心に残るおもてなしとして、皆さまをお迎えする式典会場ステージバックに開花したチシマザクラパネルを配し、会場に足を踏み入れた瞬間、華やかさと和やかさとで笑みがこぼれ、お祝いの宴に相応しい高揚感へ・・・一例ですがその様なシナリオを考えておりました。手前味噌で恐縮ながら下記に陽の目見なかったステージイメージを掲載致しました。われわれの想いお伝えする場を失ったのは残念でありますが、これで終わった訳ではありません。次の機会、笑顔でお逢い出来ます様にと願っております。

最後に月並みでありますが、この記念誌がこの後の活動の一助となればと考えております。編集作業に当たり斬新なアイディア含めご支援・ご協力戴いたクラブメンバーの皆様、誌上を借りて御礼申し上げます。ありがとうございました。

CN25周年委員会　記念誌部会長

工藤　修



2020年 6月発行

発行者　札幌グリーンライオンズクラブ
札幌市中央区南4条西4丁目北星ビル5F

印　刷　有限会社 斎藤印刷

表紙・扉ページデザイン　合同会社 ハーヴェスト